

第6回 ヤマハ発動機スポーツ振興財団・スポーツチャレンジ賞 候補者の推薦募集のお知らせ

公益財団法人ヤマハ発動機スポーツ振興財団(YMFS)は、「第6回ヤマハ発動機スポーツ振興財団・スポーツチャレンジ賞」の受賞候補者の推薦募集を、2013年9月20日(金)より開始します。

同賞は、スポーツ振興において多大なる実績を残すとともに、その功績によって社会の活性化に貢献した人物・団体を表彰し、受賞者のたゆまぬ努力と成果に敬意を表するものです。競技、指導、研究、普及、ジャーナリズムなどスポーツに関する幅広い分野において、高く評価されるのに相応しい功績をあげられ、且つこれまで注目を浴びることの少なかった「縁の下の力持ち」的な人物・団体にスポットライトをあてています。また、チャレンジスピリットあふれる受賞者のプロセスやその実像を通して、挑戦(チャレンジ)することの尊さ、大切さや「努力は報われる」ことが社会に浸透していくことを目的としています。

なお、第6回より、賞の趣旨にご賛同いただいた、公益財団法人日本体育協会、公益財団法人日本オリンピック委員会、公益財団法人日本障害者スポーツ協会日本パラリンピック委員会からの後援をいただいています。

記

- **募集期間**:2013年9月20日(金)～11月18日(月)
- **推薦者**:競技団体、大学、学会、報道機関、ジャーナリスト等
- **推薦方法**:推薦状をFAXにて当財団までお送りください ※別紙「推薦状」をご使用下さい
- **賞の概要**:

	功労賞	奨励賞
対象となる チャレンジ	長年にわたるスポーツ振興への貢献や過去の先駆的な実績を誇るチャレンジ	今後のスポーツ振興に大きな影響力が期待される、その年、極めて高い成果を上げたチャレンジ
表彰対象者	すでに優れた成果を上げ、功を成した人物・団体	その年、高い成果を上げ、今後さらなる成長が期待される人物・団体
評価の ポイント	長年もしくは過去に行われ、年数を経てから高い成果と認められた尊敬に値する礎的、先駆的なチャレンジであること。たとえば指導者、研究者、審判、ジャーナリストなどによる、その競技やスポーツ全体の底上げに貢献、もしくは海外などで裾野拡大に尽力したチャレンジなど。	短期的、もしくは中期的に行われ、その年に高い評価を受けた賞賛に値するチャレンジであること。たとえば指導者、研究者、トレーナー、サポートメンバー、審判、ジャーナリストなどによる世界レベルの成果を発揮するにあたり、重要な役割を果たしたチャレンジなど。
賞金/副賞	賞金 100万円(チームの場合は200万円) 賞状・メダル/副賞	

- **審査**: 推薦された候補者の中から、2回の選考委員会を経て当財団理事長が決定します。2014年2月発表予定
※審査において、表彰の基準を満たす対象者がいないと判断された場合は、その年の表彰を見送る場合があります
 - **表彰式**:2014年4月開催予定 ※日程の詳細は別途ご案内いたします
 - **主催**:公益財団法人ヤマハ発動機スポーツ振興財団
 - **後援**:公益財団法人日本体育協会、公益財団法人日本オリンピック委員会
公益財団法人日本障害者スポーツ協会日本パラリンピック協会
- ※スポーツチャレンジ賞の詳細は財団 WEB サイトからもご覧いただけます <http://www.ymfs.jp/project/culture/prize/>

■この件に関するメディア関係の方のお問い合わせは、下記までご連絡ください

公益財団法人ヤマハ発動機スポーツ振興財団(YMFS) 事務局

〒438-8501 静岡県磐田市新貝 2500 番地 Tel. 0538-32-9827 Fax. 0538-32-1112 <http://www.ymfs.jp>

■歴代受賞者の紹介（敬称略）

	受賞者		分野	選考の理由となったチャレンジテーマ
第1回 平成20年度	功労賞	中野 政美	柔道指導者	女子柔道の世界レベル選手の育成と女子柔道の発展
	奨励賞	丸山 弘道	車いすテニス指導者	北京パラリンピック金メダルへのチャレンジ
第2回 平成21年度	功労賞	塚越 克己	スポーツ医・科学研究者	日本のスポーツ医・科学の発展を牽引した「縁の下の力持ち」
	奨励賞	増田 雄一	アスレティック・トレーナー	トップレベルのサポート技術を一般レベルに拡大する取り組み
第3回 平成22年度	功労賞	高田 静夫	サッカー審判員	日本人審判員の育成をめざした各種制度の確立と運用
	奨励賞	中村 宏之	陸上指導者	雪国から世界をめざすトレーニングの独自開発と実践
		中北 浩仁	アイススレッジホッケー指導者	強化システムの大改革で日本初のメダル獲得にチャレンジ
第4回 平成23年度	功労賞	岸本 健	スポーツ写真家	スポーツ写真家の草分けとして、スポーツ報道の機会拡大に貢献
		水谷 章人	スポーツ写真家	独創的な表現でスポーツの魅力を伝え、スポーツ写真家の育成・環境整備にも尽力
	奨励賞	(該当なし)	—	—
第5回 平成24年度	功労賞	樋口豊	フィギュアスケートコーチ、振付師、解説者	国際的な信頼と幅広いネットワークを活かし、日本フィギュアスケートの「開国」に貢献
	奨励賞	江黒直樹	ゴールボール女子日本代表チームヘッドコーチ	「楽しいリハビリスポーツ」の普及をめざした 日本女子ゴールボールチーム 金メダルへの挑戦

■選考委員会（敬称略）

選考委員長	浅見俊雄	東京大学名誉教授/日本体育大学名誉教授
-------	------	---------------------

選考委員	西田善夫	スポーツアナリスト（元NHK解説委員）	選考委員	小西由里子	国際武道大学体育学部教授
	福永哲夫	鹿屋体育大学学長/東京大学名誉教授		定本朋子	日本女子体育大学大学院研究科長 基礎体力研究所所長・教授
	伊坂忠夫	立命館大学スポーツ健康科学部教授・副学部長		田原淳子	国士舘大学体育学部教授
	景山一郎	日本大学生産工学部教授		山本裕二	名古屋大学総合保健体育科学センター教授
	草加浩平	東京大学大学院工学系研究科特任教授		ヨコセッターラント*	嘉悦大学女子バレーボール部監督（元バレーボール選手）
	篠原菊紀	諏訪東京理科大学共通教育センター教授		今給黎教子	海洋スポーツインストラクター/冒険家
	綿貫茂喜	九州大学大学院芸術工学研究院教授		村田互	専修大学ラグビー部監督（元ラグビー選手）
	衛藤隆	社会福祉法人恩賜財団母子愛育会日本子ども家庭総合研究所所長/東京大学名誉教授		杉本龍勇	法政大学経済学部教授（元陸上選手）
	遠藤保子	立命館大学産業社会学部教授		丸山弘道	名古屋グリーンテニスクラブディレクター
	川上泰雄	早稲田大学スポーツ科学学術院教授		高橋義雄	筑波大学体育系准教授

平成25年9月17日現在（順不同）

【ご参考】スポーツチャレンジ賞スペシャルサイト公開

財団 WEB サイトでは、近藤篤氏の写真・文によるスポーツチャレンジ賞のスペシャルサイト「BACK STORIES」を、9月17日（火）に公開します。このサイトは「縁の下の力持ち」である受賞者たちの人物像や、活動の足跡・実績を深く掘り下げることで見えてくる、チャレンジするこころの大切さ、尊さを広く社会に伝えていくことを目的としています。なお、今年度は第5回受賞者に関するコンテンツを定期的に追加していきます。

URL <http://www.ymfs.jp/project/culture/prize/backstories/>



返信先 (FAX) : 0 5 3 8 - 3 2 - 1 1 1 2

公益財団法人ヤマハ発動機スポーツ振興財団事務局スポーツチャレンジ賞推薦受付担当行

※ご多忙の折、恐縮ではございますが、必要事項をご記入いただき 11 月 18 日 (月) までにご返信をお願いします。

ヤマハ発動機スポーツ振興財団スポーツチャレンジ賞 推薦状	
推薦者名	
所属名	
連絡先	住所
	TEL
推薦する賞の名称 (該当する賞を○で囲む)	功労賞 奨励賞
対象となるチャレンジ	
候補者名	
チャレンジの 具体的な成果	
主な受賞歴 (過去に受賞がある場合)	
推薦理由	